

## 令和3年度事業実績

日米協働により、ろう者の「相互の支援及び助言」(障害者の権利条約 24 条 3-a) ができる、国際性豊かなろう者を養成するプログラムは二年目となり、ろう者が「最も適当な言語並びに意思疎通の形態及び手段で、かつ学問的及び社会的な発達を最大にする環境」(同 24 条 3-c) を日本で実現し、国際的支援ネットワークもつくることを目指した。

世界で唯一の、手話とろう文化をコアとするろう者の大学アメリカギャローデット大学と協働して、オンライン教育システム「COIL」を構築し、さらに日本から学生 1 人の研修も実現した。

日本財団の前プロジェクトのおかげで完全情報保障および「手話による教養大学」の双方で言語的権利を守りながら育てたろうの学生は、社会福祉士・介護福祉士・特別支援学校教員として、ろう児・者のウェルビーイング向上のために活躍している。本事業「国際的視野をもった当事者ソーシャルワーカー養成」は、2009 年から 10 年に渡るプロジェクトを発展させて、日本全国のろう者が誇りを持って当事者ソーシャルワーカーを目指し、さらには国際性を身につけ、国外でも活躍できるようになることをも目標にした事業である。

前プロジェクトで立ち上げた「手話による教養大学」は引き続き英語やアメリカ手話をより強化して実施され、来年度からは大学として、継続することになった。

### 2. 事業内容詳細

#### (1) 手話による教養大学

「手話による教養大学」は、ろうの教授陣が手話で大学の科目を提供する日本で唯一のプログラムで、ろう当事者ソーシャルワーカーを目指す大学生に教養と国際性を身につけさせる教育を行い、また一般のろう学生には手話でソーシャルワークを学んでもらい、支援者を目指してもらおうことを目標とするものである。新型コロナウイルスの広がり通学ができなくなったことは、残念であったが、逆に今まで参加できなかった地方の学生がオンラインで授業を受けることが可能になった。またCOIL (Collaborative Online International Learning) も二年目となり、受付を締め切るほど参加希望者が集まった。新型コロナウイルス感染防止のため入構禁止・オンライン授業となり、課題提示型授業(資料と課題を提示し、学生にリアクションペーパーや課題を提出させるオンデマンド型授業)とZoomでの授業のため通信環境を整備した。ろうの講師たちには手話による授業はオンラインではかなり無理だという認識を持っていたが、二年目にはかなり慣れてくれた。ろう者の後輩を当事者ソーシャルワーカーに育てたいという強い意欲を感じた。ろう者の「相互の支援及び助言」(障害者の権利条約 24 条 3-a)の重要性、同じ障害をもつ教師の重要性(第 24 条 4)を 10 年以上示してきたことは意義が大きい。受講生は 215 名、本学学生がのべ 167 名、外部聴講生および特別聴講生がのべ 48 名であった。

#### (2) ギャローデット大学との協働

ギャローデット大学との協同教育についてホームページで広報した。受け付け開始日にはほ

ぼ満席（10名）になるほどの人気であった。

<https://www.deafkokusai.com/coil.html>

ギャロドット大学も新型コロナウイルスのパンデミックで全授業がオンラインになり、COIL（Collaborative Online International Learning）の重要性はますます認識された。

昨年に引き続き、Zoom を使って、日本の深夜、アメリカの早朝に会議を開き、日米の教員と、COILの発案者であるニューヨーク州立大学のジョン・ルビン氏をゲストに迎えて、COILのブラッシュアップを目指した。

その後、講師にキャサリン・オブライアン氏とアメリカ手話と日本手話の両方に堪能な皆川愛氏とマーティン・デルヘンチ氏を講師（ファシリテーター）とし、「ろう社会の多様性と抑圧」というテーマで日米のろう学生が互いに学び合った。日本財団の奨学生としてギャロドット大学で学び、現在ギャロドット大学の教員になっている高山亨太氏と以前手話による教養大学の講師の経験のある富田望氏が通訳を担ってくれた。

同時双方向の授業は90分三回、それ以外は小グループの学生同士の交流を重視し、SNSを使った時間差ディスカッションを積み重ね、講師たちがモニターし、アドバイスした。学生は10月末～12月までの8週間、毎日のつながりで、学びを深めた。

一方、日本社会事業大学社会福祉学部で学んだ日本社会事業大学院社会福祉学研究科の大学院生を、ギャロドット大学で学ばせた。新型コロナのパンデミックのため、8月末の新学期に受け入れられてから、2週間、学内のケロッグホテルで隔離生活をしたのち、学生寮に移り、オンラインと対面で授業に出席した。前述の高山氏を含め、先生方に特段に面倒を見ていただき、大変元気によき学びをしたとの報告があった。大学院の国際協力の科目、教員養成の科目、言語発達の科目等を履修した。

この学生は日本財団「日本社会事業大学聴覚障害者大学教育支援プロジェクト」の「ろう・難聴の塾」で学び、その後本学社会福祉学部で同プロジェクトの支援と「手話による教養大学」で学び、卒業し、大学院に進学した学生である。大学院入学後はフィリピンの貧しい地域のろう児支援のために日本とフィリピンを行き来していた院生である。

### 3. 総括

ろう者はマジョリティーたる音声言語話者と別の言語を持ちながらも、聴者社会の中でコミュニケーションをとりながら生きている。このコミュニケーション力は日本社会で現在切望されている多文化ソーシャルワーカーの資質と言える。しかし英語という音声言語が必須であるために、ろう者には高等教育を受けるのに大きな不利益がある。英語の読み書き力が十分身につけば、大学卒業も容易になるし、国際的に活躍することも夢ではない。

本事業の一つの柱、「手話による教養大学」は、ろう者に英語を始めとする教養教育を提供し、全国のろう者に単位互換制度で大学を卒業する可能性を高めるものである。またギャロドット大学の学生が履修した場合も単位互換制度によりギャロドット大学の卒業単位に含めることになっており、COIL も手話による教養大学の科目（すなわち教授会で定められた日本社会事業大学社会福祉学部の科目）という位置づけになっている。「手話による教養大学」のCOIL以外の科目も2021年度から教員間の教材・教授法での協働・互換等を行う方向で話し合いを進めた。COIL という海外と協働できる新たなオンライン教育の方法による協働科目は、シラバスのすべてをギャロドット大学と日本社会事業大学との協同でデザインしたものである。

「手話による教養大学」で語学力、国際性の基盤となる教養を身につけさせ、COIL で日米協同のろう者学に基づく当事者ソーシャルワーカー教育につなげていくというプログラムデザイ

ンが確立された。

さらに、日本財団の前プロジェクト「日本社会事業大学聴覚障害者大学教育支援プロジェクト」で育った本学の学生が、ギャローデット大学に渡って、英語・アメリカ手話・ソーシャルワーク・ろう者学を学ぶことでプログラムモデルが完成した。

日本財団の前プロジェクトが評価され、高校・大学を卒業した後の生涯教育を考える実践研究が、文科省の助成研究事業として私立大学で唯一採択された。その事業が四年目になった本年は聴覚障害の学生たちが、支援者と協力して支援の改善に努めたり、全国の受講生にオンラインで手話を教えたりした。また視覚障害者のためのデータ作成などでも活躍してくれた。本学の聴覚障害の学生たちのこれらの活動も教養教育・国際教育に連動したものである。

#### 4. 成果

本プログラムの二年間の成果として以下が挙げられる。

1. ホームページを作成し、適宜広報や事業の報告・成果をフェイスブック・インスタグラムに公表した。
2. 前プロジェクトから、新プロジェクトへの進化を日本社会事業大学研究紀要67号「日本財団『聴覚障害者大学教育支援プロジェクト』10年の歩み」(斉藤くるみ著)にて発表した。
3. 2021年12月12日(於日本社会事業大学文京キャンパス)にて日本手話学会の基調講演として「国際教育と教養教育と手話研究～COILによる日米協同教育」(斉藤くるみ)を講演、またギャローデット大学国際部長チャールズ・レイリー、日本社会事業大学斉藤くるみ、ギャローデット大学高山亨太、アメリカ滞在中の本学の学生鈴木美沙、日本とアメリカのCOIL履修生たちで、シンポジウム「ギャローデット＝社会事業大学協働授業の試み」を行った。
5. オンラインに抵抗がなくなったため全国のろう者が受講できるようになり、また講師も、2021年度にはろう者の画伯が九州からZoomで授業を行った。

## 手話による教養大学

手話による

学生

[HOME](#) > 手話による教養大学

### 手話による教養大学 ～ ろう者が教え、ろう者が学ぶ



2009年に始まった日本初の“教授陣も受講生も日本手話者”という教養教育プログラムです。法学・自然科学・英文学・経済学・舞踏・手話言語学・アメリカ手話など、さまざまな科目において、その分野の第一人者として活躍するろう者が日本手話で授業を行なってきました。

受講生は日本社会事業大学で福祉を学ぶ学生と、他大学の学生や社会人です。大学の規則に則り、授業や試験が行われ、日本社会事業大学以外の大学でも単位互換制度により単位が認定されます。

### 手話で教養豊かな国際人をめざそう

手話による教養大学では、ろう者の教師が日本手話で講義を行っています。また、日本社会事業大学 社会福祉学部では、日本手話を外国語科目とする入試も行っており、入学後は、プロの手話通訳者やパソコンタイカーがついた授業で学べます。アメリカ・ワシントンD.C.のろう者の大学ギャローデット大学との協働授業も履修することができます。「手話による教養大学」で英語やアメリカ手話を学び、ギャローデット大学への留学を目指すこともできます。

#### 「国際的視野をもった当事者ソーシャルワーカー養成」プロジェクトリーダー 斉藤くるみ

国際基督教大学で英語・言語学を学び、英国ケンブリッジ大学留学中に修道院の手話に出会い、以来、手話言語学の研究をしながら、聴覚障害をもつ高校生・大学生の学習権を守る活動に携わってきた。日本社会事業大学福祉学部教授。日本手話学会副会長。『少数言語としての手話』（東京大学出版会）の著作。



### 私たちが手話で教えています



佐野 正信

翻訳家  
「映画で英語を学ぶ」「英語B」「英語A」



末森 明夫

産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門主任研究員、日本手話学会会長、ろう史研究家  
「進化・進化学及び系統学的思考」



角 祐樹

日本手話講師  
「初級日本語」



袖山 由美

アメリカ手話通訳、国際手話通訳、キッズイングリッシュ教室主催  
「初級アメリカ手話」「中級アメリカ手話」「上級アメリカ手話」



高山 亨太

ギャロレット大学 大学院  
ソーシャルワーク研究科長、  
精神保健福祉士・社会福祉士  
「聴覚障害ソーシャルワーク  
総論」



暁

舞の舞踏家、舞・主宰  
「舞踏A・自分のからだに向か  
い合う」「舞踏B-間を見つめ  
る」



中野 聡子

群馬大学 共同教育学部特別支  
援教育講座 准教授  
「ことばとこころ」



森 亜美

英語・アメリカ手話教師  
「初級アメリカ手話」「英語  
A」



森 壮也

日本貿易振興機構アジア経済  
研究所新領域研究センター主  
任調査研究員  
「手話学 - 音韻・統語」「社  
会福祉調査法」



若林 亮

弁護士  
「法学」

50音順、2020年10月現在

日本手話が苦手な方のために手話通訳のつくバリアフリークラスの授業もあります。(清瀬キャンパス)

木下知威 「建築と科学・自然」「メディアと世界」  
前田晃秀・福島智 「盲ろうコミュニケーション支援論」  
吉川あゆみ 「情報保障」

## 私たちがプロジェクト室のスタッフです



コーディネーター・手話通訳士  
日置 淑美

プロジェクト室では聴覚障害学生の情報保障支援を提供してきました。コーディネーターとしては、パソコンテイク・手話通訳・ノートテイクとニーズに合わせて配置することが重要です。

また、先生方・支援者・学生との信頼関係を構築することも心がけてきました。

今後は英文科卒の能力も活かして、国際性を身につけた聴覚障害学生を養成するよう、新プロジェクトに貢献していきたいと思っています。



ソーシャルワーカー  
守屋 敬介

日本社会事業大学を卒業し、現在は大学院生です。

大学院入学後フィリピンに行き、現地の特別支援学校でろう児の指導をするなどの活動を2年間行いました。

プロジェクト室では、ろう当事者として、ろう学生の授業や学内生活に関わる相談など、サポートを行なっています。

## 私たちが学んでいます



岩泉 萌

私は、福祉の勉強ができる高校に通っていたため、将来は児童福祉の勉強がしたいと思い、福祉の勉強ができる大学を探したところ、日本社会事業大学があることを知りました。自分は聴覚障害を持っているため、少人数制である日本社会事業大学で学びたいと思い、社大に入りました。

将来は、まだはっきり決まっていませんが、ろう学校の先生になるか公務員になるか迷っています。

宇田 旬佑

私は将来、社会福祉士として、障がいを持つ人や生活困難に直面している人に向き合い、サポートしたいと思っています。

社事大は少人数制での授業を行っているため、自らの意見を発言する機会が沢山あり、きめ細やかな指導を受けることが出来ます。その上実習教育に力を入れているため、講義や教科書だけでは身につけられない知識や技術を身につけることが出来ます。そのようなカリキュラムは身体や手を動かしながら理解していく自分のやり方に適していると思いました。

また、本学は手話を語学として、大学のカリキュラムに取り入れています。ろう講師による講義もあります。母語である手話での講義を受けられ、自由に質問、意見の主張が可能であることに魅力を感じました。以上の理由から、本学へ進学することを決めました。



#### 瀧澤 雅樹

私は、オープンキャンパスで手話言語学の斉藤先生と出会い、いろいろ話を聞いたり、情報保障や手話による授業が受けられることがポイントだったので、社事大に入りました。将来は、教育に携わる仕事がしたいです。

ろう者である私から見た社会はまだ偏見や差別で溢れていて、特にマイノリティの存在は見過ごされているように感じます。コミュニティから孤立していきろう者も、私はこの目で見てきました。

この大学でいろいろ勉強をし、少しでも社会に発信できるように、啓蒙活動をしていきたいです。

ろう者・難聴者のみなさん、ぜひ社事大に入って一緒に勉強していきましょう。

#### 西脇 将伍

あらゆる分野で活動されている静々たる講師によって行われる"手話による教養大学"に私は惹かれました。第二外国語にあたるASLを習得することで、各国のろう者と繋がることが可能になり、ろう者に関する学問も深く学べるため、当事者である自分の可能性を広げられると考えました。

また、社会的弱者という同じ立場に置かれているあらゆる障害者にも関心があり、社事大の豊かな社会福祉のカリキュラムで幅広く学ぶことによって、マイノリティの視点から社会を良くするヒントを得られると思います。

今では、障害者の理解が普及し、社会は変わりつつあります。しかし、ろう学校の現場では、聴者のように音声で喋り、聴くことに重点が置かれ、ろう文化がそんざいにされている現実があり、そのことは、未だ障害者が否定的にとらえられているからでしょう。そこで将来は、社事大で学んだことを活かし、自分にできることを模索していきたいと考えています。

そして私は、ろう児が生まれてきたら、"おめでとう、ろう者の世界へようこそ"と心から言えるような世の中にしたいのです。



#### 藤井 太陽

これまで、ろう者である私が、障がいや社会福祉などに関することを学ぶ機会はありませんでした。社事大に入ることによって新たな考えが生まれるだろうと、期待して入学しました。

ろう者である私を障がい者とみることはなく、聴者と同じ立場で講義を受けられることが大きいです。

将来は、私のようなろう者が困っていることがあれば、すぐ助けるということをしりたいです。特に、日本手話という言語を社会に普及させていきたいと思っています。

"日本手話は言語であり、ろう者の誇りである"

#### 増田 菜央

以前より人と関わることが好きで、発展途上国の支援にも関心があったため、福祉がいいかなと思ったこと。また情報保障が他の大学と比べて進んでいるため社大への入学を決めました。

大学に入っていなかったら別の自分として人生を歩んでいたと思うほどとてつもなくデカイ経験ができました。

将来は、当事者でもあり、私だからこそできることを、発展途上国で誰もが輝ける人生を送れる環境をつくりたいと思っています。



## 支援者を目指すスキルを学ぶ

コミュニケーションバリアフリー課程は、聴覚障害者支援のスペシャリストを目指すための課程です。  
手話通訳・パソコンテイク・盲ろうコミュニケーション支援などにチャレンジしてみたい方を募集しています。

<https://deafhooproject.com/bp/>

パソコンテイクって何？



Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

Copyright © 2020 国際的視野をもった当事者ソーシャルワーカー養成 All Rights Reserved.

2021 年度

「手話による教養大学」

# 特別聴講生ハンドブック

(大学等に在籍している方)

日本社会事業大学



# 目次

- 1 申請手続きについて
- 2 授業期間
- 3 事務取扱窓口
- 4 成績評価及び単位認定
- 5 休 講
- 6 補 講
- 7 出席確認
- 8 文京キャンパスの開講科目について
- 9 清瀬キャンパスの開講科目について
- 10 キャンパスへのアクセス

# 1 申請手続きについて

## 1-1 出願資格

以下、2つの条件を満たしている方。

- ①日本手話のできる方。
- ②大学、短期大学等に在籍している方。

[日本社会事業大学学部特別聴講生規程 第2条 (1)・(2)]

## 1-2 申請期間

(1) 2021年3月1日(月) ～ 2021年4月15日(木)

対象：前期科目・後期科目

(2) 2021年9月1日(水) ～ 2021年9月30日(木)

対象：後期科目

※前期5科目以内、後期5科目以内までの申請とさせていただきます。

※開講科目によって授業開始日が異なりますのでご注意ください。

## 1-3 申請方法

郵送、FAX、E-mailのいずれかにて、以下の2点を大学教務課までご送付下さい。

- ・本学所定の申請書
- ・本学所定の履歴書
- ・在学証明書(学生証のコピーでも可)

お申込み後、「聴講許可書」を現住所宛てに郵送いたします。

## 1-4 受講場所

日本社会事業大学 文京キャンパス

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-12

日本社会事業大学 清瀬キャンパス

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

## 1-5 申込先

日本社会事業大学 大学教務課(清瀬キャンパス)

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

TEL : 042-496-3107 / FAX : 042-496-3101

E-mail : kyoumuka@jcsu.ac.jp

## 2 授業期間

授業は、補講日を含めた以下の期間で、15コマ実施いたします。

(前期) 4月6日(火) ～ 7月31日(土)

(後期) 9月13日(月) ～ 1月26日(水)

※授業日程については、8および9「開講科目」で確認してください。

※集中講義はこの期間に当てはまらない日程で行われることがあります。

## 3 事務取扱窓口

窓口	取扱事務	取扱時間		問い合わせ先	
清瀬キャンパス 大学教務課	聴講の受付・授業など に関すること	月～金	8:30～16:30	TEL	042-496-3100
				FAX	042-496-3101
		土	8:30～12:00	E-mail	kyoumuka@jcs.ac.jp
文京キャンパス	文京キャンパスでの授業 に関すること	授業に合わせて取扱		TEL	03-5689-8181
				FAX	03-5689-8231

## 4 成績評価及び単位認定

成績評価及び単位認定については、本学の学則及び試験規程に基づき、次の通り定める。

### 4-1 受験資格 [試験規程第3条]

次に該当する授業科目については、受験資格がないものとする。

- ①未履修登録の科目
- ②出席が学則に定める時間数の3分の2に満たない科目

### 4-2 不正行為 [試験規程第4条]

- ①不正ペーパーを使用すること。
- ②許可された物以外の物を使用すること。
- ③のぞき見をすること。
- ④試験中に会話をすること。
- ⑤レポート試験等で、不正な引用(要約も含む。)をすること。
- ⑥レポート試験等で、オリジナルでないものをオリジナルであるかのように見せかけること。
- ⑦前各号の行為に類する行為をすること。

不正行為をした者には、その学期のすべての履修科目の単位を認定しない。

#### 4-3 筆記試験 [試験規程第 5 条]

筆記試験については、担当教員の指示のとおりとする。

#### 4-4 レポート試験 [試験規程第 6 条]

レポート試験については、担当教員の指示のとおりとする。

#### 4-5 成績評価の基準 [学則第 33 条及び試験規程第 9 条]

成績については、以下の基準により評価する。

[合格]

- ・ 100～90 点 . . . . . S
- ・ 89～80 点 . . . . . A
- ・ 79～70 点 . . . . . B
- ・ 69～60 点 . . . . . C

[不合格]

- ・ 59～0 点 . . . . . D

[その他]

- ・ 評価不能 . . . . . E

#### 4-6 成績評価等に関する異議申し立てについて [試験規程第 10 条]

成績発表の内容についての異議及び疑問がある場合は、成績の問い合わせ期間内に大学教務課に照会すること。ただし、所定の期日を過ぎてからの申し出には一切応じない。

## 5 休講

担当教員の疾病等やむを得ない事情で授業を休講する場合がありますので、授業の前に「Web ポータルシステム」で休補講等の情報を確認してください。

## 6 補講

授業を休講した場合は、原則として補講期間に補講を行いますので、定期的に「Web ポータルシステム」で休補講等の情報を確認してください。

○「Web ポータルシステム」の URL

パソコン <https://www.jcsw-edu.net>

※「Web ポータルシステム」を利用する場合は、ユーザーID とパスワードが必要です。ユーザーID とパスワードは聴講許可者に配布いたします。

## 7 出席確認

出席確認は、すべての科目で教員が行います。

やむを得ない事情による欠席を含めて、学則に定める時間数の 3 分の 2 に満たない科目については、単位を認定しないので注意すること。

## 8 文京キャンパスの開講科目について

### 8-1 開講科目一覧 (文京キャンパス)

連番	科目名	担当者	単位	日程
1	英語 A25	森 亜美 先生	1	8/2・8/3・8/4 8/5・8/6
2	英語 A26	佐野 正信 先生	1	木曜・全 15 回 初講日:9/16
3	初級日本手話 F	角 祐樹 先生	1	木曜・全 15 回 初講日:4/8
4	初級アメリカ手話 B	袖山 由美 先生	1	水曜・全 15 回 初講日:4/7
5	中級アメリカ手話	袖山 由美 先生	1	水曜・全 15 回(8日間) 初講日:11/3
6	上級アメリカ手話	袖山 由美 先生	1	水曜・全 15 回 初講日:4/7
7	人間の知性と感性の認識 XIV 「映画で英語を学ぶ」	佐野 正信 先生	2	6/5・6/12・6/19 7/3
8	人間の知性と感性の認識 XV 「舞踏 A」	雫 境 先生	2	木曜・全 15 回(8日間) 初講日:4/8
9	人間の知性と感性の認識 XV 「舞踏 B」	雫 境 先生	2	木曜・全 15 回(8日間) 初講日:9/16
10	人間の知性と感性の認識 XVII 「ことばとこころ」	中野 聡子 先生	2	9/1・9/2・9/3
11	社会福祉調査法 I B	森 壮也 先生	2	4/10・4/17・5/1・5/8 5/15
12	科学的思考と自然の認識 X I 「進化-進化学的及び系統学的思考」	末森 明夫 先生	2	5/29・6/5・6/12
13	法学(権利擁護を支える法制度) B	若林 亮 先生	2	水曜・全 15 回 初講日:4/7
14	人間の知性と感性の認識 XVIII 「手話学(音韻・統語)」	森 壮也 先生	2	10/2・10/9・10/16 10/23・11/6
15	社会福祉特講 V 「ろう者学総論」	高山 亨太 先生	2	7/10・7/17・7/24
16	情報科学 A7	近藤 真暉 先生	1	土曜・調整中

8-2 時間割 (文京キャンパス)

(1) 前期

曜日	18:30~20:00	20:10~21:40
月		
火		
水	若林亮先生 「法学(権利擁護を支える法制度)B」	袖山由美先生 「上級アメリカ手話」
	袖山由美先生 「初級アメリカ手話B」	
木	角祐樹先生 「初級日本手話F」	雫境先生 「人間の知性と感性の認識XV」(舞踏A-自分のからだに向かい合う-) ※4月8日より開講
金		
土	近藤真暉先生 「情報科学A7」※調整中	

※ 6/30 (水) は、学内行事のため休講となります。

※ 4/29 (木) [昭和の日]、5/3 (月) [休日]、5/4 (火) [休日]、5/5 (水) [こどもの日]は、通常授業を実施します。

※ 木曜開講科目について休講をした場合には、7/22 (木) [海の日]、もしくは7/27 (火)、7/29 (木)、7/30 (金) いずれかにおいて補講をします。補講指定日以外の実施の場合もあります。

(2) 後期

曜日	18:30~20:00	20:10~21:40
月		
火		
水	袖山由美先生 「中級アメリカ手話」 ※11月3日より開講	
木	佐野正信先生 「英語 A26」	雫境先生「人間の知性と感性の認識XVI」 (舞踏B-間を見つめる-)
金		
土		

※ 12/2 (木)、12/15 (水) は、学内行事のため休講となります。

※ 9/23 (木) は、学内行事である「2年次生 コース・ゼミ選択オリエンテーション」のため、1・2年次開講科目の5・6・7時限は休講となり、1/20 (木)、1/21 (金)、1/24 (月)、1/25 (火)、1/26 (水) いずれかにおいて補講をします。補講指定日以外の実施の場合もあります。

## (3) 集中講義 (4月10日～7月24日)

区分	月日	1限	2限	3限	4限	5限	
		9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	
前期	4月10日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	4月17日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	5月1日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	5月8日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	5月15日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	5月29日(土)	末森明夫先生「科学的思考と自然の認識X I」 (進化-進化学的及び系統学的思考)					
	6月5日(土)	末森明夫先生「科学的思考と自然の認識X I」 (進化-進化学的及び系統学的思考)					
		佐野正信先生「人間の知性と感性の認識X IV」(映画で英語を学ぶ)					
	6月12日(土)	末森明夫先生「科学的思考と自然の認識X I」 (進化-進化学的及び系統学的思考)					
		佐野正信先生「人間の知性と感性の認識X IV」(映画で英語を学ぶ)					
	6月19日(土)	佐野正信先生「人間の知性と感性の認識X IV」(映画で英語を学ぶ)					
	7月3日(土)	佐野正信先生「人間の知性と感性の認識X IV」(映画 で英語を学ぶ)					
	7月10日(土)	高山亨太先生 社会福祉特講V「ろう者学総論」					
	7月17日(土)	高山亨太先生 社会福祉特講V「ろう者学総論」					
7月24日(土)	高山亨太先生 社会福祉特講V「ろう者学総論」						

(4) 集中講義 (8月2日～9月3日)

区分	月日	1限	2限	3限	4限	5限
		9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
前期	8月2日(月)		森亜美先生「英語 A25」			
	8月3日(火)		森亜美先生「英語 A25」			
	8月4日(水)		森亜美先生「英語 A25」			
	8月5日(木)		森亜美先生「英語 A25」			
	8月6日(金)		森亜美先生「英語 A25」			
	9月1日(水)	中野聡子先生「人間の知性と感性の認識XVII」(ことばとこころ)				
	9月2日(木)					
	9月3日(金)					

(5) 集中講義 (10月2日～11月6日)

区分	月日	1限	2限	3限	4限	5限
		9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
後期	10月2日(土)		森壮也先生「人間の知性と感性の認識XVIII」 (手話学-音韻・統語-)			
	10月9日(土)					
	10月16日(土)					
	10月23日(土)					
	11月6日(土)					



## 9 清瀬キャンパスの開講科目について

### 9-1 開講科目一覧 (清瀬キャンパス)

連番	科目名	担当者	単位	日程
1	初級アメリカ手話A	森亜美 先生	1	火曜・全 15 回 初講日: 4/6
2	人間の知性と感性の認識XIX 「盲ろうコミュニケーション支援論」	前田晃秀 先生 福島智	2	木曜・全 8 回 初講日: 4/8
3	科学的思考と自然の認識XIII 「建築と科学・自然」	木下知威 先生	2	木曜・全 15 回 初講日: 9/16
4	科学的思考と自然の認識XIV 「メディアと世界」	木下知威 先生	2	木曜・全 15 回 初講日: 9/16
5	社会の認識と国際理解XV 「情報保障」	吉川あゆみ 先生	2	水曜・全 15 回 初講日: 9/15

### 9-2 時間割

#### (1) 前期

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
	9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	18:00~19:30
火曜			初級アメリカ手話 A (森先生)			
木曜					人間の知性XIX (前田・福島先生) ※4/8は5限のみ	人間の知性XIX (前田・福島先生)

※ 5/5 (水) [こどもの日]は通常授業を実施します。

※ 木曜開講科目について休講をした場合には、7/22 (木) [海の日], もしくは7/27 (火), 7/29 (木), 7/30 (金) のいずれかにおいて補講をします。補講指定日以外の実施の場合もあります。

※ 「人間の知性XIX」については、受講生に聴覚障がいた場合にのみ手話通訳が付きます。

#### (2) 後期

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
	9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50
水曜		社会の認識XV (吉川先生)			
木曜			科学的思考XIII (木下先生)	科学的思考XIV (木下先生)	

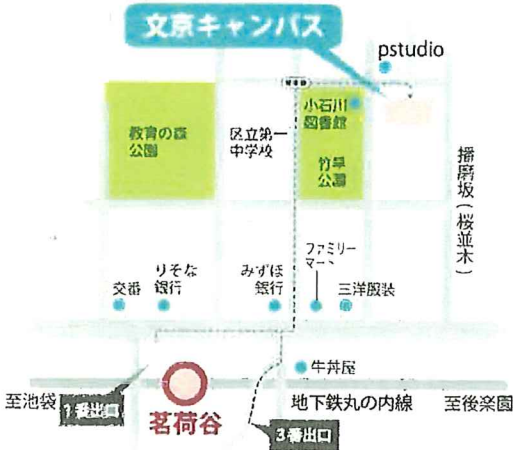
※ 12/2 (木)、12/15 (水) は学内行事のため休講となります。

# 10 キャンパスへのアクセス

## (文京キャンパス)

〒112-0002

東京都文京区小石川 5-10-12



文京キャンパスには駐車場および駐輪場がありませんので公共の交通機関を利用して通学してください。(徒歩5分)

- 地下鉄丸の内線「茗荷谷駅」下車
- ↓
- 駅前より春日通りにでて、後樂園方向へ
- ↓
- みずほ銀行を左折して、1つめの信号を右へ

## (清瀬キャンパス)

〒204-8555

東京都清瀬市竹丘 3-1-30



- 西武池袋線「清瀬駅」下車
- ↓
- 南口バスターミナルよりバス乗車

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下里団地行き</li> <li>■ 花小金井駅行き</li> <li>■ 滝山営業所行き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 久米川駅行き</li> </ul>
↓乗車時間：6分	↓乗車時間：5分
「社会事業大学前」下車 徒歩3分	「東京病院北」下車 徒歩5分

# 手話による教養大学 2021

日本語でも英語でもない。  
手話で学ぶ教養が、ここにある。

手話による教養大学の授業がオンラインで受けられるようになりました。  
どのような状況でも、地方の方でも、オンラインで履修することができます。  
大学生はもちろん、大学に通っていない社会人の方も受講できます。  
単位互換も可能です。

大学生のみなさん、手話で受けた授業の単位を自分の大学の単位にしませんか。

社会人のみなさん、手話で大学の授業を受けてみませんか。

詳細・お申込みについては下記ホームページをご覧ください



<https://deafhohproject.com/college/2015schedule/>

お問い合わせはこちら



E-mail: [projectd@jcsw.ac.jp](mailto:projectd@jcsw.ac.jp)

## 講師紹介（五十音順）

近藤真暉先生



### 「情報科学 A7」

現代の情報社会においては、情報機器を用いて「正しく正確な情報を収集する」「収集した情報を適切に加工し分析する」「得られた情報をわかりやすく発信する」技術が求められます。本講義では、聴覚障害者に身近なトピックスをふんだんに取り上げながら、これらの知識・技術の習得を目指します。さらに、国籍、言語、障害など多様なバックグラウンドを持つ人たちに適切に情報を伝えられる思考として、情報アクセシビリティの基礎を学びます。

本講義はオンラインでの実施を予定していますが、受講生の希望や状況に合わせて柔軟に対応していきます。

## 佐野正信先生



### 「人間の知性と感性の認識XIV」(映画で英語を学ぶ)

今年度は、アーサー・コナン・ドイル(1859-1930)が生み出した名探偵シャーロック・ホームズの物語を取り上げます。講義の目的は、映像化作品を鑑賞することでホームズに関する基本的知識をひと通り身につけてもらうこととします。同一主題の複数の映像化作品を短期間に集中して見れば、比較的容易にその全体像が掴めます。教材は作品の質の高さ、原作への忠実度、在宅視聴の容易さ(AmazonのPrime Videoで視聴可能)を考慮し、ジェレミー・ブレットがホームズを演じたイギリスのグラナダテレビ版『シャーロック・ホームズの冒険』の主要作品10数話(1話当たり52分)とします。医師でありながら心霊主義に傾倒した原作者の人となりや、物語の背景となるヴィクトリア朝時代(1837-1901)・世紀末についても考察します。

講義は在宅での作品鑑賞とメールによる資料購読・レポート提出を基本とするつもりです。

### 「英語 A26」

山崎祐一『瞬時に出てくる英会話フレーズ大特訓』を教科書に英会話の定型表現・頻出表現の習得を目指します。英→日の理解は難しくはないでしょうが、日→英の表現は簡単にはいかないものがあるはずです。これを機に正しい英語で瞬時に表現する力を身につけてください。ただし、実際の筆談や会話で誤りを気にしすぎて萎縮してしまうのは良くないので、「勉強するときにはいつも完全を目指す。しかし会話をするときには通じることを目指す」(デビッド・セイン)をモットーにしてください。また英語文化についても理解を深めてもらうため、ネットのゲームに毎回トライして遊び感覚でアメリカ50州の名称と位置と簡単な特徴を覚えてもらいます。昨年度は、なんと8割以上の受講生が2分前後で50州全部の位置を地図上で言い当てられるようになりました。

講義はメールによる資料購読とレポート提出を基本とするつもりです。

## 末森明夫先生



### 「科学的思考と自然の認識X I」(進化 - 進化学及び系統学的思考)

皆さんは聾啞史という領域をご存じでしょうか? 「昔もこんな聾啞者がいた」という話はたくさんあります。でもそれだけでは聾啞史という領域を深く理解することはできません。たとえば、昔の「聾」や「啞」という字が示す意味は、現在とは大きく異なっていました。昔はどんな意味だったのでしょうか? また、江戸時代以前に聾者を描いた絵はほとんど知られていません。昔の人は聾者を描かなかったのでしょうか? 講義では「分類」「系統」「進化」という自然科学領域において形成された概念と分析手法を使って、文字、絵画、手話という3つの視座から聾啞史におけるさまざまな話題をたどっていきます。皆さんの参加をお待ちしております。

授業は対面としますが、遠方の方には同時に動画配信をします。

## 角祐樹先生



### 「初級日本手話F」

「日本手話」って何? と思いませんか? 日本手話は、日本語、英語、中国語などと同じように独自の言語体系・文法を持っています。手の動きだけでなく顔・体の方向、顔の表情や目の動き、首の動き、眉の上げ下げなども言葉としての意味を持ちます。その日本手話を、受講生の皆さんが自然に習得できるように、私が、日本手話で直接教授します。私の授業は、基本的に対面式ですが、状況によってはオンラインで授業することも(遠方の方がいらっしゃる場合)あります。対面式でもオンライン式でも皆さんが楽しく日本手話を習得できるように、丁寧に指導しますので、よろしくお願いします。

## 袖山由美先生



### 「初級アメリカ手話B」「中級アメリカ手話」「上級アメリカ手話」

この授業は ASL を身に付けるだけではありません。初級クラスはたくさんの方の ASL 語彙のシャワーを浴びます。中級クラスはたくさん浴びた ASL 語彙を ASL ポエムとして学び、表現力を伸ばしていきます。大抵の方は ASL ポエムで、最初は壁にぶつかります。難しい、どうやって表現するの？と。最初はグループに分かれて、お互いの意見をぶつけ合いながらこういう表現がいいんじゃない？という風に進めます。皆さんの ASL 成長が大きく出てきます。最後の発表会では皆さんは達成感を味わいます。ASL に対しての自信が持てるようになるのもその頃ですね。最後の上級クラスでは ASL4 コマ漫画を見て、討論します。アメリカの文化、ろう文化、コーダなどの 4 コマ漫画を元に色々な視点で討論をします。アメリカ形式でやっていますので、アメリカ形式を体験してみてください。

ASL は空間言語なので対面授業で行います。身体で感じ取ってください。

## 高山亨太先生



### 社会福祉特講V「ろう者学総論」

近年、ろう者学というキーワードを日本のソーシャルメディアやアカデミックの世界でよく目にするようになりました。しかし、ろう者を題材にすれば、なんでもろう者学だという誤解が多く見られるようになってきたことも事実です。ろう者学を知るためには、その学問背景や理論について、きちんと知ることが重要です。本講義は、フーコーやデリダなどの哲学論から、最近のろう者学の動向、また障害学との関係まで、広く解説しながら、ろう者学のいろはの「い」に触れる講義になります。テキストは、古典的なものになりますが、ハーラン・レインの「善意の仮面」を使用します。

なお、授業は、新型コロナウイルスの状況も鑑みて、同時双方向でのオンライン講義を検討しています。

## 雫境先生



「人間の知性と感性の認識XV」(舞踏A-自分のからだに向かい合う-)

「人間の知性と感性の認識XVI」(舞踏B-間を見つめる-)

ダンスは音楽に合わせて踊る、と一般的に思い浮かべられがちですが実際はそれに限りません。リズム等に合わせるのではなく音楽を背景的、雰囲気的にとらえたり、無音で踊ったりすることもあります。舞踏にはそういった表現が多くあります。日本で生まれた舞踏は、「BUTOH」として国際的に知られダンスや演劇に影響を与えました。ろう文化であるサインポエム、サインマイム、VV (Visual Vernacular)などは聴覚の音楽ではなく「視覚的音楽」としての重要度が高いです。それらを踏まえ、舞踏をベースにした身体表現を学びます。技術ではなく気持ち、感情、感覚で踊ることも重要なので誰でもできます！

尚、授業は対面としますが、遠方の方には同時に動画配信をします。

## 中野聡子先生



「人間の知性と感性の認識XVII」(ことばとこころ)

人間と動物の最も大きな違いは、人間が思考する言語を持っていることです。人がことばを使ってコミュニケーションし、物事について思考するとき、頭の中ではどのようなことが起きているのでしょうか。この授業では、ふだん何気なく話していること、考えていること、行動していることの機序について学びます。聴覚障害を持つ子どもたちの発達過程についても取り上げますので、聴覚障害児・者の教育や支援に関わる方が、現場の実践に必要な基礎的知識をブラッシュアップするのにも最適な授業です。

本授業は、同時双方向のオンラインを基本とする形態で実施します。

## 乗富秀人先生



### デフアート

「デフアート」とは作者が、ろう者・聴者関係なく、手話やろう文化をモチーフに描かれた芸術のことを呼んでいます。私の描くデフアートは自身のフランス留学体験を加えて、他にもろう歴史・哲学・心理等も含めてオリジナリティーとしてです。こうしたデフアートを通して、ろう者が生きていた時代背景を読み解くことによって当時の社会や現代社会、そして人間との関係性が鮮明に見えてくるのです。それを見つけ、自分の置かれている状況を再認識するとともに、これから生きる上で多くの知識や知恵がデフアートには散りばめられています。様々な作品を見たり、読むことによって多面的な物の見方や考え方が身につくようになり、手話を誇りに思い、それを原点として将来の夢を広げていく力につながる手助けになればと思います。

授業はオンラインで行います。

## 森亜美先生



### 英語 A25

これまで、アメリカのろう社会、歴史、差別問題などをテーマとした英文資料を読み、手話や日本語に翻訳し、ディスカッションをする、という方法で授業を進めてきました。また、デフジョークなどの英文をグループごとに読んで演じるということもやりました。これは好評なので今後もやる予定です。主に時事問題を扱いますが、昨年度は黒人差別反対運動、COVID19流行があり、それらをテーマとした記事等を教材にしました。特にろうの黒人差別問題については学生さんたちも深刻に考えながら英語を読んでもくれました。

対面を原則としますが、状況によっては対面とオンラインまたは動画配信となる可能性もあります。



## 森壮也先生



### 「人間の知性と感性の認識XⅧ」(手話学-音韻・統語-)

日頃、深く考えることもなく使っている手話について一般社会の注目が集まり、手話が言語だということが語られるようになってきました。でも、手話が言語だというのはどういうことなのか？その理由と背景について、人間の言語について探求を続けている言語学の立場から世界的な議論を日本手話で解説し、学びを深めていく授業です。

なお、授業は新型コロナウイルスの感染状況を見つつの判断となりますが、原則、全回同時双方向のオンラインで実施したいと思っています(状況によっては対面に移行する可能性もあります)。

### 「社会福祉調査法 I B」

社会福祉士の試験のためにも必修となっている社会調査法について日本手話を講義言語として、学びます。統計学の基本統計量といった基礎概念の理解についての座学だけでなく、コンピュータを使ったデータの分析方法などについて実際のデータでの分析を交えながら理解を深めていきます。数量分析と質的分析の双方の特徴や違いについても説明します。

なお、授業は新型コロナウイルスの感染状況を見つつの判断となりますが、原則、全回同時双方向のオンラインで実施したいと思っています(状況によっては対面に移行する可能性もあります)。

## 若林亮先生



### 「法学（権利擁護を支える法制度）B」

私は聴覚障がいのある弁護士です。法学Bのテーマである成年後見人の仕事や弱い立場にある人の権利擁護や差別解消に向けた仕事も数多く手がけています。社会福祉士や精神保健福祉士、本人の親族など聞こえる人と協力し合いながら、対等に力や知恵を貸し合っています。現場でも裁判所でも耳が聞こえないからといって仕事の幅を狭められたり依頼を断られたりしたことは一度もありません。どのように仕事をしているかエピソードを交えながらお話しし、そして聴覚障がいがあっても社会や職場で工夫できることについても皆さんと意見交換したいと思います。

原則対面ですが、遠方の方は同時双方向の動画のやりとりでももちろん構いません。

## 新科目も続々

その他、『聴覚障害者福祉の歴史～聴覚障害者の生活問題と支援の変遷』、『デフアート』、ギャロデット大学との協同授業（COIL）など新科目も日程が決まり次第お知らせします。COILはギャロデット大学の学生と交流しながらオンラインでろう文化を学ぶ授業でももちろん大学の単位になります。

## 清瀬キャンパス開講の授業もあります

- ・初級アメリカ手話A（森亜美）
- ・人間の知性と感性の認識XIX「盲ろうコミュニケーション支援論」（前田晃秀・福島智）
- ・科学的思考と自然の認識XIII「建築と科学・自然」（木下知威）
- ・科学的思考と自然の認識XIV「メディアと世界」（木下知威）
- ・社会の認識と国際理解XV「情報保障」（吉川あゆみ）

## 手話による教養大学 2021

日本語でも英語でもない。  
手話で学ぶ教養が、ここにある。

手話による教養大学の授業がオンラインで受けられるようになりました。  
どのような状況でも、地方の方でも、オンラインで履修することができます。  
大学生はもちろん、大学に通っていない社会人の方も受講できます。  
単位互換も可能です。

大学生のみなさん、手話で受けた授業の単位を自分の大学の単位にしませんか。  
社会人のみなさん、手話で大学の授業を受けてみませんか。

詳細・お申込みについては下記ホームページをご覧ください



<https://deafhohproject.com/college/2015schedule/>

お問い合わせはこちら



E-mail: [projectd@jcsu.ac.jp](mailto:projectd@jcsu.ac.jp)

### 講師紹介（五十音順）



キャサリン・オ布莱エン先生

皆川愛先生 マーティン・デイルヘンチ先生



#### 「ろう社会の多様性と抑圧」

この授業は\*COIL という国際協働オンライン学習形式を組み込んで行われます。日本にいながら、オンラインにてアメリカのギャロデット大学の授業を経験し、学生との国際交流を通して新しい知見を学ぶ授業です。特権、デフェリート、手話の多様性、ろう社会のリーダーシップなど様々な題材を扱い、日米のろう社会の多様性と抑圧について双方向に学び合います。授業には日本手話通訳⇔アメリカ手話通訳がつきます。

\*COIL: Collaborative Online International Learning

授業は全てオンラインで9月25日から11月27日 土曜日午前中に実施します。zoom を使ったリアルタイムでの遠隔授業と自主グループワーク学習の混合になります。

佐野正信先生



#### 英語 A26

山崎祐一『瞬時に出てくる英会話フレーズ大特訓』を教科書に英会話の定型表現・頻出表現の習得を目指します。英→日の理解は難しくはないでしょうが、日→英の表現は簡単にはいかないものがあるはずです。この機に正しい英語で瞬時に表現する力を身につけてください。ただし、実際の筆談や会話で誤りを気にしすぎて萎縮してしまうのは良くないので、「勉強するときにはいつも完全を目指す。しかし会話をするときは通じることを目指す」(デイビッド・セイン)をモットーにしてください。また英語文化についても理解を深めてもらうため、ネットのゲームに毎回トライして遊び感覚でアメリカ 50 州の名称と位置と簡単な特徴を覚えてもらいます。昨年度は、なんと 8 割以上の受講生が 2 分前後で 50 州全部の位置を地図上で言い当てられるようになりました。講義はメールによる資料購読とレポート提出を基本とするつもりです。

9月16日～1月6日 毎週木曜日 18時半～20時

袖山由美先生



#### 中級アメリカ手話

ASL を身に付けるだけではありません。

初級クラスはたくさんの ASL 語彙シャワーを浴びます。

中級クラスはたくさん浴びた ASL 語彙を ASL ポエムとして表現力を伸ばしていきます。大抵の人は ASL ポエムで最初は壁にぶつかります。難しい、どうやって表現するの？最初はグループに分かれて、お互いの意見をぶつけながらこういう表現がいいんじゃない？という風に皆さんの ASL 成長が大きく出てきます。最後の発表会では皆さんは達成感を味わって、ASL に対する自信が持てるようになるのもその頃ですね。最後の上級クラスでは ASL4 コマ漫画を見て、討論します。アメリカの文化、ろう文化、コーダなど 4 コマ漫画を元に色々な視点での討論をします。アメリカ形式にやっていますので、アメリカ形式を体験してみてください。

ASL は空間言語なので対面授業で行います。身体で感じ取ってください。

11月3日～1月6日 毎週水曜日 18時30分～21時40分

雫境先生



「人間の知性と感性の認識XVI」(舞踏B-間を見つめる-)

ダンスは音楽に合わせて踊る、と一般的に思い浮かべがちですが実際はそれに限りません。リズム等に合わせるのではなく音楽を背景的、雰囲氣的にとらえたり、無音で踊ったりすることもあります。舞踏にはそういった表現が多くあります。日本で生まれた舞踏は、「BUTOH」として国際的に知られダンスや演劇に影響を与えました。ろう文化であるサインポエム、サインマイム、VV (Visual Vernacular) などは聴覚の音楽ではなく「視覚的音楽」としての重要度が高いです。それらを踏まえ、舞踏をベースにした身体表現を学びます。技術ではなく気持ち、感情、感覚で踊ることも重要なので誰でもできます！ 尚、授業は対面としますが、遠方の方には同時に動画配信をします。

9月16日から8回 木曜日18時30分～21時40分

中野聡子先生



「間の知性と感性の認識XVII」(ことばとこころ) 人間と動物の最も大きな違いは、人間が思考する言語を持っていることです。人がことばを使ってコミュニケーションし、物事について思考するとき、頭の中ではどのようなことが起きているのでしょうか。この授業では、ふだん何気なく話していること、考えていること、行動していることの機序について学びます。聴覚障害を持つ子どもたちの発達過程についても取り上げますので、聴覚障害児・者の教育や支援に関わる方が、現場の実践に必要な基礎的知識をブラッシュアップするのにも最適な授業です。

本授業は、同時双方向のオンラインを基本とする形態で実施します。

9月1、2、3日 9時～17時

乗富秀人先生



#### 人間の知性と感性の認識 XIII (デフアート)

デフアートとは「手話」と「ろう文化」等をモチーフに描いた芸術分野のことを呼びます。

ろう者自身の実体験を含め、先人たちの体験をもとに描いたデフアートを通して作品の全体像を概観しながら、ろう歴史を背景に考察します。

それによって、ろう者が手話で生きる意味、そして聴者が手話を学ぶ意味を認識することで、お互いに尊重する共生社会の重要性を学び、理解を深めていく授業です。

9月17日～1月7日 毎週金曜日 18時30分～20時

森亜美先生



#### 英語 A2 5

これまで、アメリカのろう社会、歴史、差別問題などをテーマとした英文資料を読み、手話や日本語に翻訳し、ディスカッションをする、という方法で進めてきました。また、デフジョークなどの英文をグループごとに読んで演じるということもやりました。これは好評なので今後もやる予定です。主に時事問題を扱いますが、昨年度は黒人差別反対運動、COVID19流行があり、それらをテーマとした記事等を教材にしました。特にろうの黒人差別問題については学生さんたちも深刻に考えながら英語を読んでくれました。対面を原則としますが、状況によっては対面とオンラインまたは動画配信となる可能性もあります。

8月2・3・4・5・6日 10時40分～16時10分

森壮也先生



#### 手話の言語学

日頃、深く考えることもなく使っている手話について一般社会の注目が集まり、手話が言語だということが語られるようになってきました。でも、手話が言語だというのはどういうことなのか？その理由と背景について、人間の言語について探求を続けている言語学の立場から世界的な議論を日本手話で解説し、学びを深めていく授業です。なお、授業は新型コロナの感染状況を見つづの判断となりますが、原則、全回同時双方向のオンラインで実施したいと思っています(状況によっては対面に移行する可能性があります)。

10月2日～11月6日の土曜日 10時40分～16時10分

## COIL・ギャローデット大学

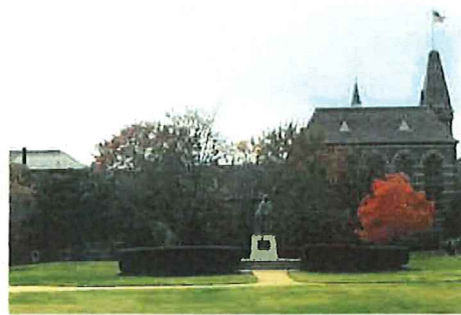
[HOME](#) > [COIL・ギャローデット大学](#)

### COILとは

Collaborative Online International Learning の略で、ICTを用いて、バーチャルに国境を越えて、学生たちが交流学習を行う活動です。本プロジェクトでは、2020年4月より、米国ギャローデット大学と日本社会事業大学の教授陣が、COILの発案者であるニューヨーク州立大学COILセンターの所長Jon Rubin氏をゲストに迎え、オンライン会議を進め、双方のろうの教授陣によるオンデマンド動画や執筆教材を準備してきました。オンライン授業はどこにいても見られるもので、コロナ禍においても、リモート教育として確立しました。

### ギャローデット大学について

アメリカ合衆国ワシントンD.C.にあるろう者のための大学です。世界で唯一のアメリカ手話を教育言語・生活言語とする大学で、教授たちは手話者（多くはろう者）、授業はアメリカ手話で行われます。150年の伝統をもち、歴史的建物としても美しく、キャンパス内にはホテルもあり、まさにろう者のユートピアです。ろう学生にとって完全なバリアフリー環境があるため、全米から学生が集まる他、25カ国以上から留学生が集まっています。



ギャローデット大学の教員であった言語学者ウィリアム・ストーキー（William Stokoe）が1960年に発表した論文「手話の構造」から、手話を自然言語として研究することが始まりました。今ではろう者が自然に生み出した手話が自然言語であることは、世界中の言語学者が認めるどころです。

1988年のDeaf President Now Movement（「今こそろうの学長を」運動）はADA（障がいを持つアメリカ人法1990年）に結びついたとも言われています。今も卒業生は全米で、そして世界中で、ろう者の権利を守るために活躍しています。

<https://www.gallaudet.edu/>



### COIL講師



Charles Reilly, Ph.D.  
チャールズ・レイリー

Project Leader  
Senior International Officer  
Office of International Affairs / Research



Kurumi Saito, Ph.D.  
斉藤くるみ

Project Leader & COIL Coordinator  
Professor of Faculty of Social Welfare,  
Japan College of Social Work  
Vice-President of Japanese Association



GALLAUDET  
UNIVERSITY



GSW



**COIL**

Collaborative  
Online  
International  
Learning

第1回目 Week1

授業ガイダンス Orientation

🇯🇵 Oct 2nd, 2021 🇺🇸 Oct 1st, 2021



Support & International Affairs (RSIA)  
ギャローデット大学 国際部長 (研究支  
援・国際部)

for Sign Language Studies  
日本社会事業大学 社会福祉学部 教授  
日本手話学会 副会長



**Kota Takayama, Ph.D.**  
高山 亨太

*COIL Coordinator*  
Chair, The Graduate School, Department  
of Social Work, Gallaudet University  
ギャローデット大学大学院 ソーシャルワ  
ーク研究科長



**Lindsay Dunn**  
リンゼイ・ダン

Lecturer of Department of  
Deaf Studies, Gallaudet  
University  
ギャローデット大学 ろう者学  
部専任講師



**Brian Greenwald, Ph.D.**  
ブライアン・グリーンウォ  
ールド

Professor of Department of  
History, Gallaudet University  
ギャローデット大学 歴史学部  
教授



**Ikumi Kawawata**  
川俣郁美

日本財団 職員



**Harumi Kimura**  
木村 晴美

NHK手話ニュースキャスター  
国立障害者リハビリテーショ  
ンセンター学院 手話通訳学科  
教官  
学校法人明晴学園 理事



**Carolyn McCaskill, Ph.D.**  
キャロライン・マカスキル

Professor of Department of  
Deaf Studies, Gallaudet  
University  
ギャローデット大学 ろう者学  
部教授



**Elizabeth Moore, Ph.D.**  
エリザベス・ムーア

Interim Chief Diversity Office  
Division of Equity, Diversity &  
Inclusion, Gallaudet  
University  
ギャローデット大学 ダイバー  
シティ部長



**Seiko Mori**  
森 せい子

聴力障害者情報文化センター  
聴覚障害者情報提供施設 施設  
長  
精神保健福祉士・介護支援専  
門員



**Laurene Simms, Ph.D.**  
ローレン・シムズ

Professor of Department of  
History, Gallaudet University  
ギャローデット大学 教育学部  
教授



**Akio Suemori, Ph.D.**  
末森 明夫

産業技術総合研究所バイオメ  
ディカル研究部門主任研究員  
日本手話学会 会長  
ろう史研究家



**Hiroshi Tamon**  
田門 浩

弁護士



**Yasuyuki Toda**  
戸田 康之

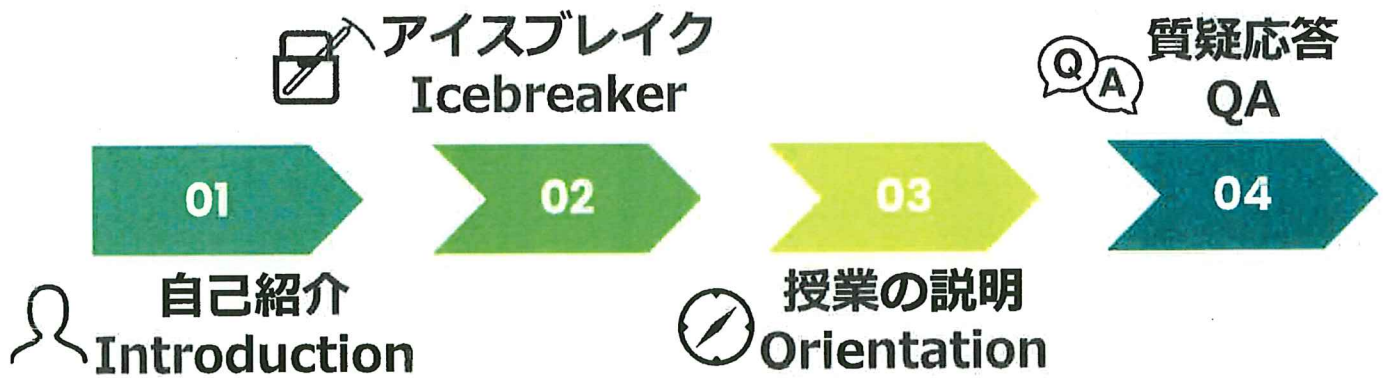
坂戸ろう学校 教諭  
NHK手話ニュース キャスター

アルファベット順、2020年10月現在  
Alphabetical order by surname, as of October, 2020

## ギャローデット大学 高山先生による大学の紹介 (2020年7月)

日本社会事業大学聴覚障害プロジェクト

# 本授業の流れ AGENDA





## 自己紹介

- ・ 名前
- ・ サインネーム

## Self-Introduction

- ・ Name
- ・ Sign name

## アイスブレイク(1)

日本手話、アメリカ手話、  
それぞれ  
5つの手話をお互い学ぼう！

1. 知りたい表現を聞く
2. その表現に対する手話を教える

## ICEBREAKER #1

Teach each other 5 signs  
of Nihon Shuwa (Japanese  
Sign Language) and  
American Sign Language!

1. Ask which signs you  
want to know
2. Teach that sign

# Communication Tools コミュニケーションツール

 DeepL Translation app  
[deepl.com](https://www.deepl.com)



Translation in line  
account: [@linejpen](https://line.me/j/line/japanese/translation)

# 本授業の流れ

## AGENDA

03



授業の説明  
Orientation

# 目標 GOALS

1

**コミュニケーション**

Improve  
cultural  
communication  
skills

2

**文化理解**

Become more  
sensitive to  
cultures

3

**自己洞察**

Be more self-  
aware

# 授業スケジュール

## COURSE SCHEDULE

1週目 Week1	10月2日 9時 8pm, Oct 1st	オリエンテーションとアイスブレイク Orientation and Icebreaker	講義と議論 / Class
2週目 Week2	10月9日 9時 8pm, Oct 8th	モジュール1: 特権と抑圧 Module 1: Privilege and Oppression	講義と議論 / Class
3週目 Week3	10月16日 9時 8pm, Oct 15h		グループ課題 / Assignment
4週目 Week4	10月23日 9時 8pm, Oct 23rd	モジュール2: 手話の多様性 Module 2: Sign Language Diversity 特別講師: 矢野羽衣子氏 キャロル・マッカスキル氏	講義と議論 / Class
5週目 Week5	10月30日 9時 8pm, Oct 29th	Guest Speakers: Ms. Uiko Yano : Dr. Carolyn McCaskill	グループ課題 / Assignment





# 本授業の流れ AGENDA



# Language Diversity

## 言語の多様性

COIL Session #4 COIL 4回目

October 22, 2021 (USA) 2021年10月22日(アメリカ時間)

October 23, 2021 (Japan) 2021年10月22日(日本時間)

How many languages are there in the world?  
世界には、いくつの言語がありますか？

**7,139** languages

(Ethnologue.com)

**7,139** 言語

(Ethnologue.com)

**300** sign languages

**300** 手話



What is a....

**“standard” language?**

**「標準言語」とは？**

**“dialect”?**

**「方言」とは？**



Is English the **same everywhere** in the US?

- US English: Appalachian variety, AAE, Midland variety

アメリカでは英語は**どこでも同じ**ですか？

- アパラチア変種, 黒人英語 (AAE), ミッドランド変種

Is Japanese the same everywhere in Japan?

- Japan: Kansai (Osaka area) variety, Tsugaru variety

日本では日本語は**どこでも同じ**ですか？

- 関西弁, 津軽弁など

Appalachian: He don' know nothin'.  
Standard: He doesn't know anything.

津軽: けな一けやぐど湯さいってきたじゃ  
標準語: 昨日、友達と温泉にいったよ



## What makes a standard language “prestigious?”

(Hill 2015, p150)

### 標準言語の「優位性」は？

A language like English is **not** 英語などの言語はそのものだけでは  
prestigious in itself! 権威はない

Where does its prestige come from? 権威はどこから？

1. **social** success
2. **economic** success
3. **educational** success

(Hill 2015, p150)

1. **社会的成功**
2. **経済的成功**
3. **教育的成功**

(Hill 2015, p150)



## ASL / Nihon Shuwa (JSL) アメリカ手話・日本手話

Which has more prestige to YOU?

ASL or English?

Are you taught formal ASL in classes?

あなたにとって、どちらがより権威がある？  
日本語か日本手話？

学校では日本手話を使用される？  
課題は日本手話で？



## Who has the power in the Deaf community? ろうコミュニティーでは、誰が権力を持つ？

What kind of language skills do they have?

どんな言語能力を持っている？

Is it the same between Japan and the US's deaf communities?

日本のろうコミュニティーでも、アメリカでも同じですか？





**Dr. Carolyn McCaskill about Black ASL**

**キャロリン・マカスキル先生 「黒人アメリカ手話」**



## Module #2 Assignment

What kind of experiences have you had with “dialects” as a Deaf person growing up?

What kind of privileges or disadvantages had you experienced related to languages - both signed and spoken?

Discuss with your group and create a video about what you discussed.

ろう者として、「方言」についてどのような経験をしてきましたか？

手話と音声言葉の両方の言語に関連して、どのような特権や不利益を経験しましたか？

グループで話し合った内容をビデオにしてください。

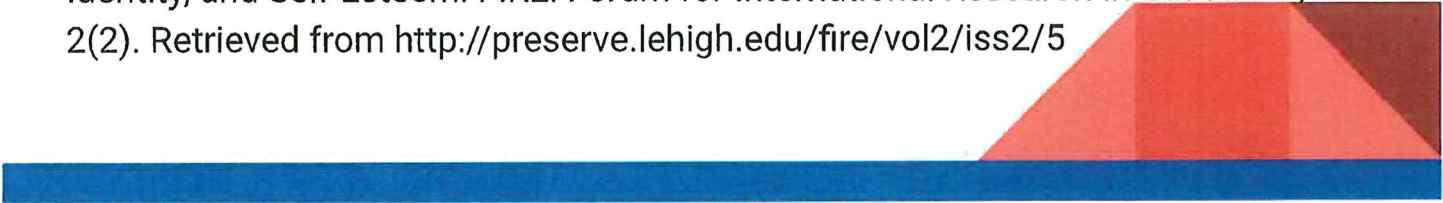


<https://www.ethnologue.com/guides/how-many-languages>

Hill, Joseph C. (2015). Language attitudes in Deaf communities. *Sociolinguistics and Deaf Communities*. Cambridge University Press. p 146-174.

Schermer, Trude (2016). Language variation and standardization. *The Linguistics of Sign Languages*. John Benjamins. p 279-298

Yu, S. (2015). The Relationships among Heritage Language Proficiency, Ethnic Identity, and Self-Esteem. *FIRE: Forum for International Research in Education*, 2(2). Retrieved from <http://preserve.lehigh.edu/fire/vol2/iss2/5>



# 特権と抑圧

# Privilege and Oppression

COIL 2週目  
2021年10月8日  
皆川愛

COIL 2<sup>nd</sup> week  
Oct 8<sup>th</sup>, 2021  
Ai Minakawa

## 本授業の流れ

ろう者間での  
同一性と相違性



特権  
ろうエリート



抑圧



グループ動画課題



## AGENDA

Deaf similarities  
and differences

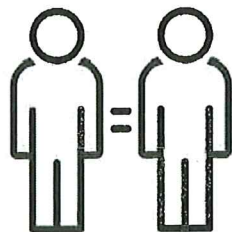
Privilege  
Deaf elite

Oppression

Group video  
assignment

## ろう者間での 同一性

---



## Deaf similarities

---

ろう者として共通の経験

- 感覚的
- 言語
- 教育
- 歴史 (抑圧、権利運動)  
など

Shared experience of  
being deaf

- Sensorial
- Language
- Education
- History (Oppression, Deaf  
rights movements)

(Robinson, 2018)



5. 自分は性的マイノリティではない

5. I do not self identify as a sexual minority

5. 自分は人種的・民族的マイノリティではない

5. I do not self- identify as a racial / ethnic minority

5. 公共サービス（病院、学校、役所）の使用に困難を感じたことがない

5. It is easy for me to use public services (e.g. Hospitals, Schools, Government offices)

5. 自分は国内においてマジョリティに位置付けられていると思う

5. I think I am positioned as a majority in my country



## 本授業の流れ

## AGENDA



特権  
ろうエリート

Privilege  
Deaf elite

(出口, 2021)

特権は自動ドア

Privilege is like an  
automatic door



## WFD Board members



Dr Joseph J. Murray

President  
USA 🇺🇸



Mr Kasper Bergmann

Vice President  
Denmark 🇩🇰



Ms Victoria Manning

Board Member  
New Zealand 🇳🇿



Mr Bruno Druchen

Board Member  
South Africa 🇿🇦



Mr Juan A. de  
Gouvêa Fernandez

Board Member  
Venezuela 🇻🇪



Mr Withayoot Bunnag

Board Member  
Thailand 🇹🇭



Mr Stanislav Ivanov

Board Member  
Russian Federation 🇷🇺



Ms Hjordis Anna  
Haraldsdottir

Board Member  
Iceland 🇮🇸



Mr Frank Folino

Board Member  
Canada 🇨🇦



Mr Steffen Helbing

Board Member  
Germany 🇩🇪



Mr Florjan Rojba

Board Member  
Austria 🇦🇹



WORLD FEDERATION  
OF THE DEAF

WFD. (2021). WFD Board members.

Retrieved Oct 10<sup>th</sup>, 2021 from

<http://wfdeaf.org/who-we-are/our-team/>



# 全米ろう連盟 National Association of the deaf (NAD)

## Board



Melissa S. Draganac-Hawk  
President

Watch

Bio



Amy Gornme  
Vice President

Watch

Bio



Jenny Buechner  
Secretary

o

### About Us

#### Board

- Board and COR Minutes
- Board Meetings
- Committees
- Team Members
- Law & Advocacy Center
- Internship Interest
- Priorities
- Bylaws
- Policy Institute

## 一般財団法人全日本ろうあ連盟役職者名簿 (2020年10月評議員会～2022年6月評議員会終結時)

# ろうあ連盟 Japanese Federation of the deaf (JFD)

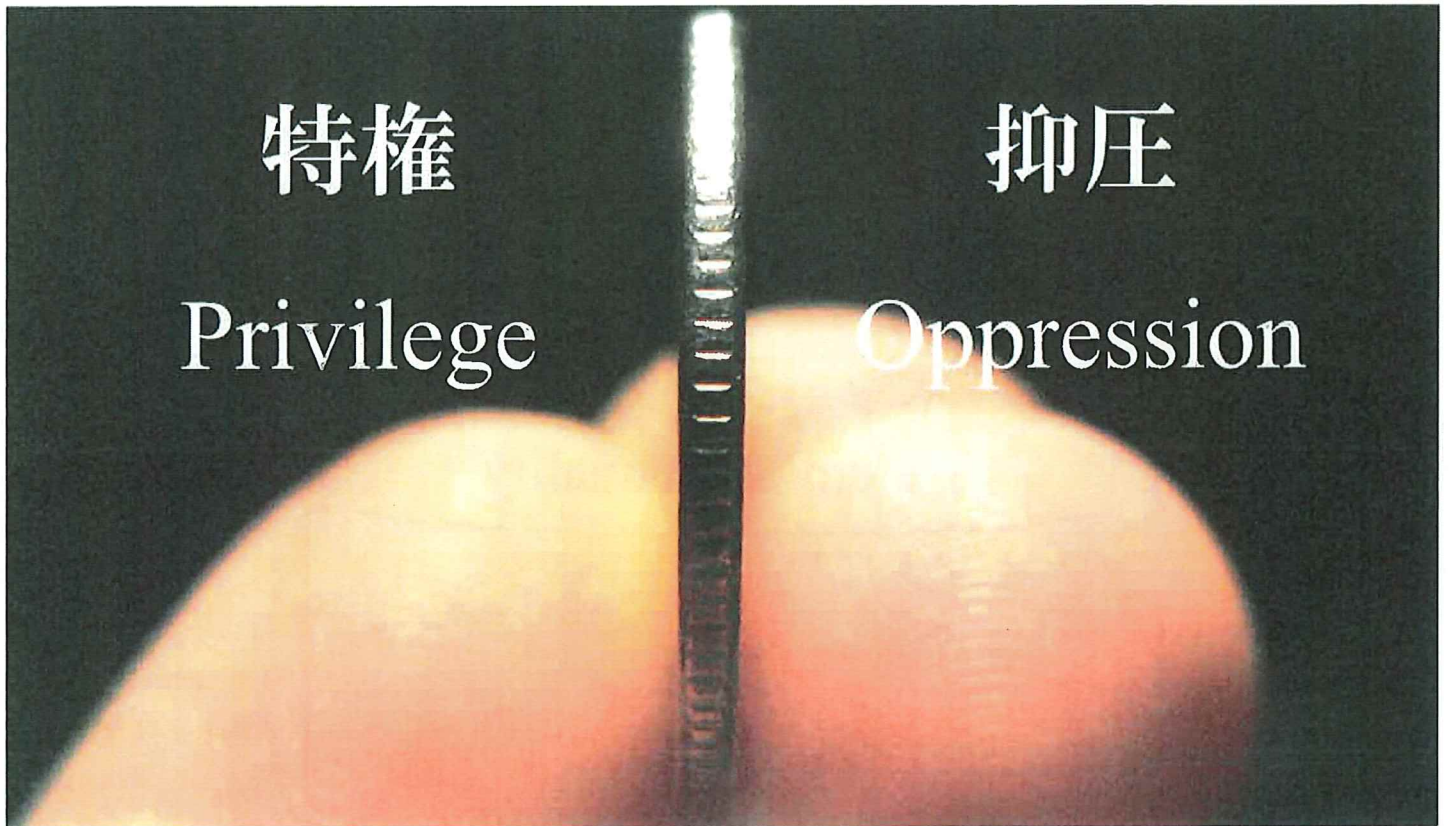
役 職 名	担 当 部	氏 名	常勤・非常勤別
理事長		石野 富志三郎 (いしの ふじさぶろう)	非常勤
副理事長	人事担当	大竹 浩司 (おおたけ こうじ)	非常勤
副理事長	財務担当	石橋 大吾 (いしばし だいご)	非常勤
常任理事	事務局長	久松 三二 (ひさまつ みつじ)	常勤

特権

Privilege

抑圧

Oppression



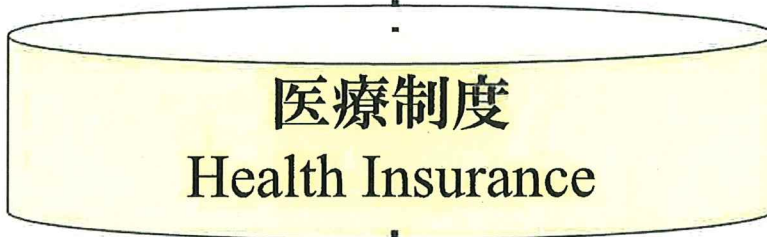


勞せずして  
得られる  
優越

社会経済的地位  
Social Economic Status

Unearned  
advantage

不平等を  
維持する  
社会構造



医療制度  
Health Insurance

Social structure  
maintains inequality

つきまとう  
不利

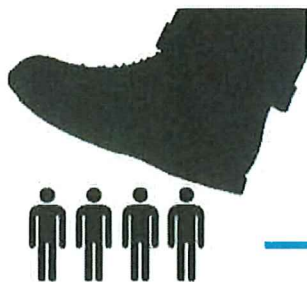
医療格差  
Health Disparities

Unearned  
disadvantage



(Nixon, 2019)

## 抑圧



## Oppression

- 一部の社会集団に特権を与える、目に見えない、体系的な力（=抑圧）がある
- こうした社会構造が人々に重大な影響を及ぼし、不平等を生み出す

- Systematic (sometimes invisible) forces that privilege social groups over others
- Such an unfair social structure have profound effects on people, producing inequities

## グループ動画課題



## Group video assignment

- 日本と米国それぞれのろう社会における特権を列挙し、それらの類似点や相違点について議論しなさい。
- 長さは5-10分とする。
- Google classroomにグループの代表者が掲載する。
- **10月21日までとする。**
- Identify deaf privileges in Japan and USA and discuss what they are different and similar.
- 5 -10 minutes in length.
- One of the group members uploads your video to google classroom.
- **Due: Oct 21st**



## 引用文献 References

- Nixon, S. A. (2019). The coin model of privilege and critical allyship: Implications for health. *BMC Public Health*, 19 (19). <https://bmcpublikehealth.biomedcentral.com/articles/10.1186/s12889-019-7884-9>
- Robinson, O. E. (2018). Interrogating “DEAF-SAME”: Is this for Real? *The journal of Deaf Studies and Deaf Education*, 23(2), 185.
- 出口真紀子. (2021). 差別や人権の問題を「個人の心の持ち方」に負わせすぎなのかもしれない. [https://co-coco.jp/series/study/makiko\\_deguchi/](https://co-coco.jp/series/study/makiko_deguchi/)